

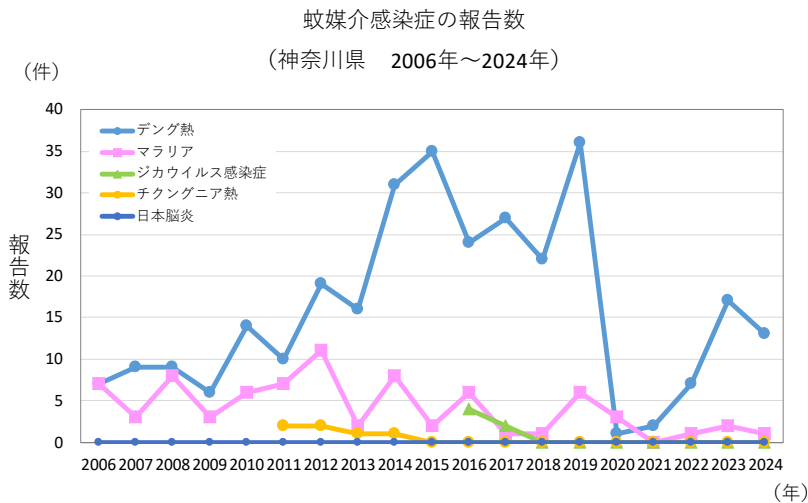


蚊媒介感染症に気をつけて



蚊媒介感染症の中でも、特に海外で流行しているデング熱などは、新型コロナウイルス感染症流行による訪日外国人旅行者数、出国日本人数減少に伴い、2020年以降報告数が激減しました。しかし2024年の出国日本人数は2019年の65%程度であるものの、訪日外国人旅行者数は過去最高であり、2025年はこれを上回るペースとなっています。海外に行く前には渡航先で流行している感染症の情報を収集して、予防できるものは予防をしましょう。蚊に刺されないように注意することも大切です。

神奈川県内の主な蚊媒介感染症の発生動向年次推移



* 2011年からチクングニア熱、2016年からジカウイルス感染症が全数把握対象疾患となりました。



神奈川県衛生研究所HP
疾患別情報「デング熱」



○神奈川県の蚊媒介感染症の届出では、デング熱が最も多く、マラリアも少数ながら届出があります。

○デング熱の神奈川県における報告数は2023年17件、2024年13件、2025年は8月8日現在5件です。

○デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱の原因ウイルスはネッタイシマカ、ヒトスジシマカが媒介し、マラリア原虫はハマダラカという蚊が媒介します。日本脳炎ウイルスは主にコガタアカイエカが媒介します。

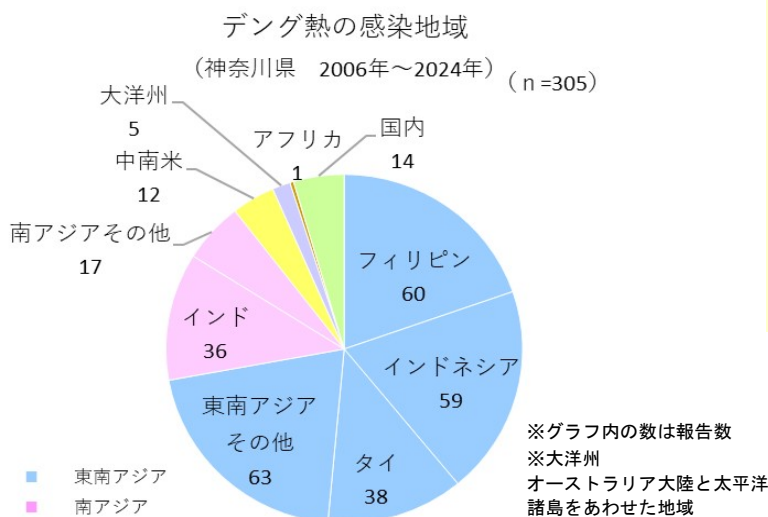
○蚊媒介感染症は、ほとんどが国外感染例ですが、2014年にはデング熱の国内感染例が報告されており、国内でも国外でも蚊への注意が必要です。

※日本脳炎は左記期間中の神奈川県内の報告はありませんが、他自治体では国内感染例も報告されています。予防にはワクチンが有効です。

デング熱はアジア、マラリアはアフリカでの感染が多い

デング熱の感染地域の内訳は下の図の通りです。日本から旅行、出張、留学で渡航者が多い東南アジアや南アジアでの感染が多くみられます。

マラリアはアフリカ、ジカウイルス感染症は中南米での感染が多くみられます。



蚊媒介感染症への対策は・・・

1 蚊に刺されない！

長袖・長ズボンを着用し肌の露出を減らす。
虫よけ剤を使う。
蚊取り線香・蚊帳を使用する。

2 蚊を増やさない！

水たまり（幼虫のすみか）を作らない。
下草（蚊のたまり場）を刈る。

蚊媒介感染症を疑う症状が出たら・・・

早期診断・早期治療が大切。
速やかに受診し、渡航歴を伝える。



神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

(令和7年8月作成)